

平成19年度 事務事業評価表		担当	市民福祉部 健康推進課			内線等	8078
事務事業名	母子の家庭訪問事業			事業コード	1. 一般事務事業（ソト事業）		
根拠法令等	母子保健法			A 法令			

総合計画での位置付け

基本目標	3. 健康で安心して暮らせるまちづくり	施策名	保健
------	---------------------	-----	----

事務事業の内容

対象（受益者）	新生児及び乳幼児とその家族に（希望者）
手 段	保健師・助産師及び見守り訪問員が訪問し、相談や指導を行い
想定する成果	健康面や育児に関する不安の軽減を図り、より健康な日常生活を送ることができる。

事業の概要

項 目	平成18年度実績	平成19年度実績	平成20年度計画
こんにちは赤ちゃん訪問件数	-	260件（延べ510人）	500件（延べ850人）
育児支援家庭訪問件数	251件（延べ448人）	174件（延べ307人）	185件（延べ380人）
虐待予防のための支援件数	83件（新規25・継続58）	55件（新規11・継続44）	50件（新規10・継続40）

成果指標

成果指標名	1件当たりの訪問人数	1件の訪問に要する経費
成果指標の説明	年間延べ訪問人数 / 年間訪問件数 こんにちは赤ちゃん+育児支援家庭訪問件数	事業費 / 年間訪問件数 こんにちは赤ちゃん+育児支援家庭訪問件数

事業の進捗状況 （ 一般 会計 ） （単位：千円）

		平成18年度決算（実績）				平成19年度決算（実績）				平成20年度予算（計画）			
成果指標		1.8回				1.9人				1.8人			
成果指標		25,805円				22,341円				15,101円			
事業費	事業費	250				324				930			
	人件費	6,227				9,372				9,414			
	(人数)	正規	0.8	非常勤		正規	1.2	非常勤		正規	1.2	非常勤	
	合計	6,477				9,696				10,344			
財源内訳	国					337				516			
	県												
	市債												
	その他												
	一般財源	6,477				9,359				9,828			

事務事業内容の評価

項目	課内評価		部長評価		評価の説明(問題点)
	19評価	16評価	19評価	16評価	
達成度	2	2	2	2	家庭訪問することで、家庭環境が把握できるため、より家庭状況に合わせた指導ができる。
経済効率性	2	2	2	2	訪問1回につき、22,341円の経費を要するため、経済効率性は低い。
事務効率性	2	2	2	2	事務効率性を高めるためには、見守り訪問員の養成を行い、見守り訪問員による訪問を増やしていく必要がある。
必要性	2	2	2	3	育児不安の軽減や虐待を予防するためにも、乳幼児期の家庭訪問が必要である。
小計	8	8	8	9	
施策への貢献度	3	-	3	-	健康で安心して暮らせるまちづくりのためには必要な事業である。
合計	11	8	11	9	

達成度等各項目は、0～3点までの4段階評価

総合評価	B	B	B	B	育児不安による虐待等社会問題に関わることもあり、関係機関と連携を密にして対応している。重要な保健事業として位置づけている。
------	---	---	---	---	---

総合評価は、A～Dまでの4段階評価

前回(H16評価時)「今後改善すべき点」として記載した内容及びその実施状況

前回(H16評価時に)記載した「今後改善すべき点」
上記改善点の実施状況

今後さらに改善すべき点

こんにちは赤ちゃん訪問事業においては平成21年度からの全数訪問に備え、見守り訪問員の養成を図る必要がある。

平成21年度予算に反映する項目

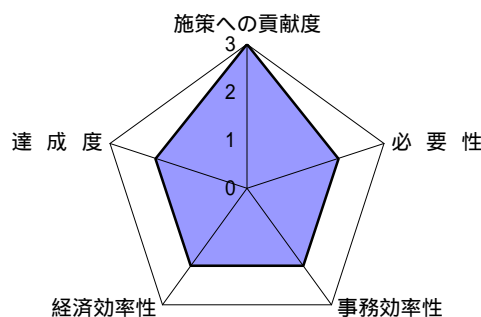
見守り訪問員の報償費の増

今後の方向性

拡大、充実

【各部長は、部長評価欄の採点部分だけを記載】

内部管理事務事業、義務的事業は必要性を、また施策名がその他のものは施策への貢献度を評価していません。



課内評価と部長評価の平均点